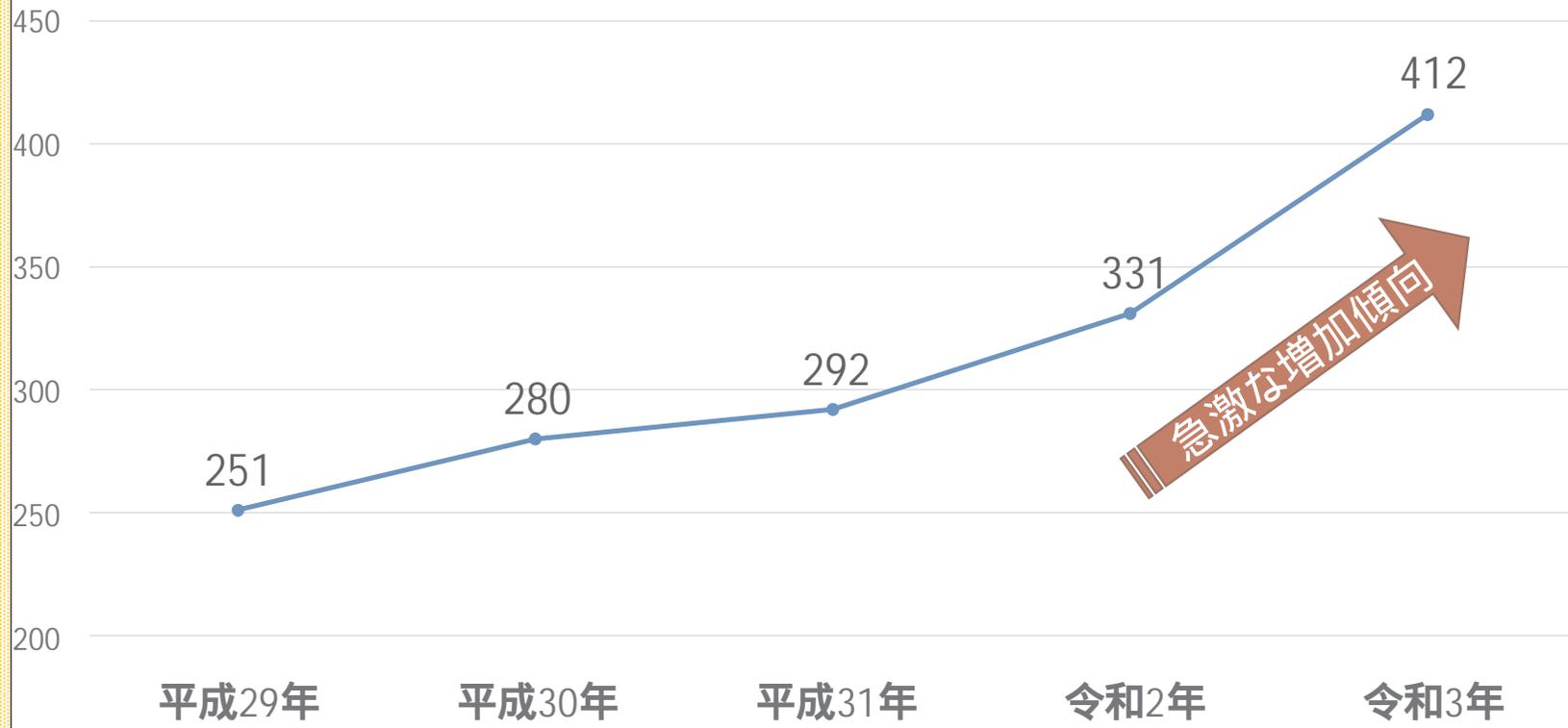


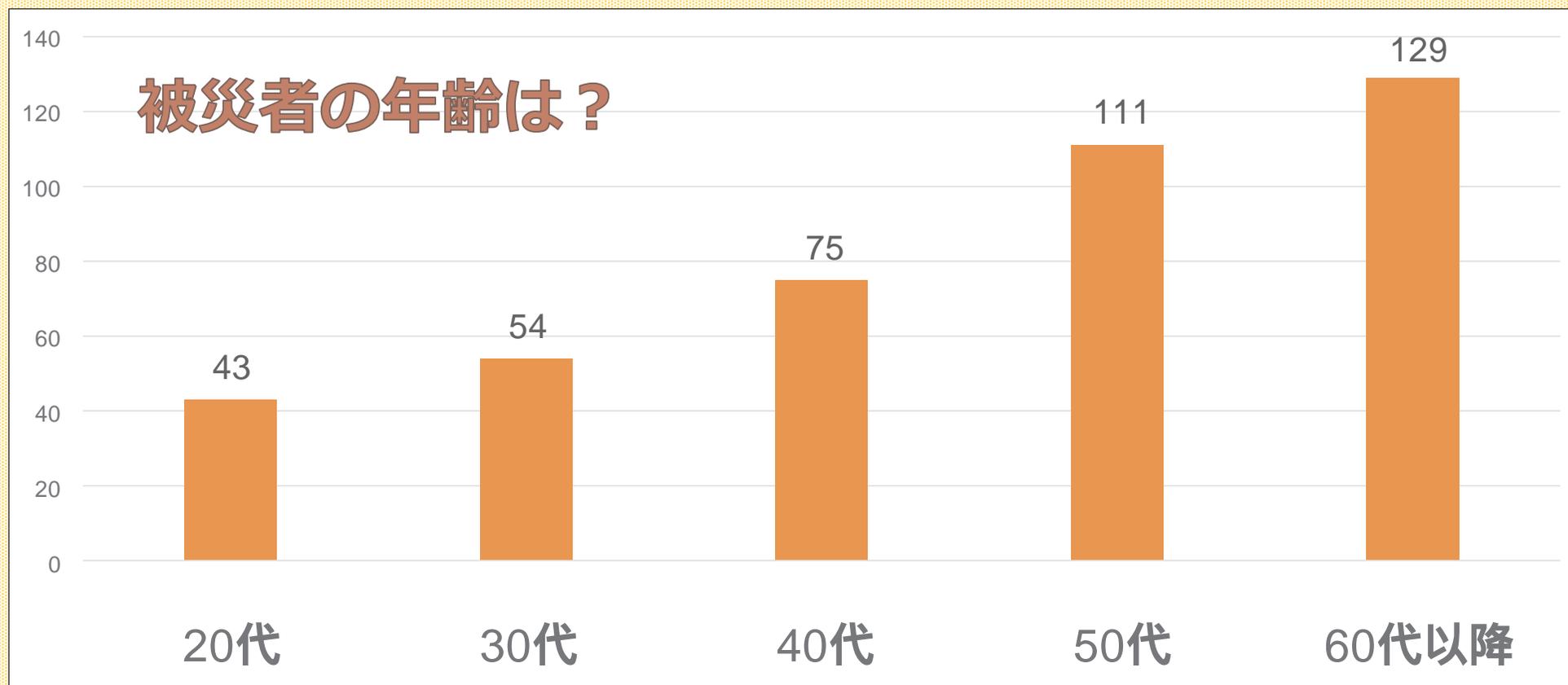
社会福祉施設の 労働災害防止について

労働災害が急増しています

社会福祉施設の労働災害件数の推移（静岡県内）

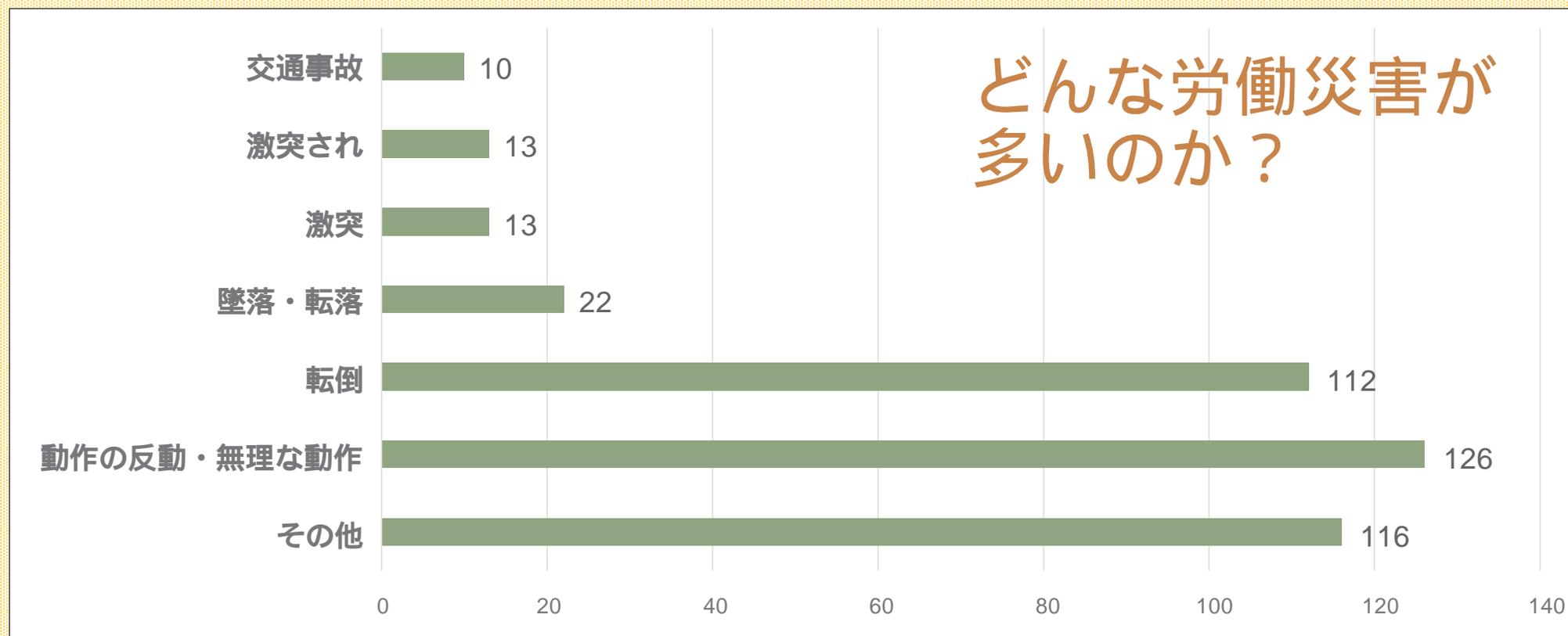


社会福祉施設労働災害発生件数(令和3年)



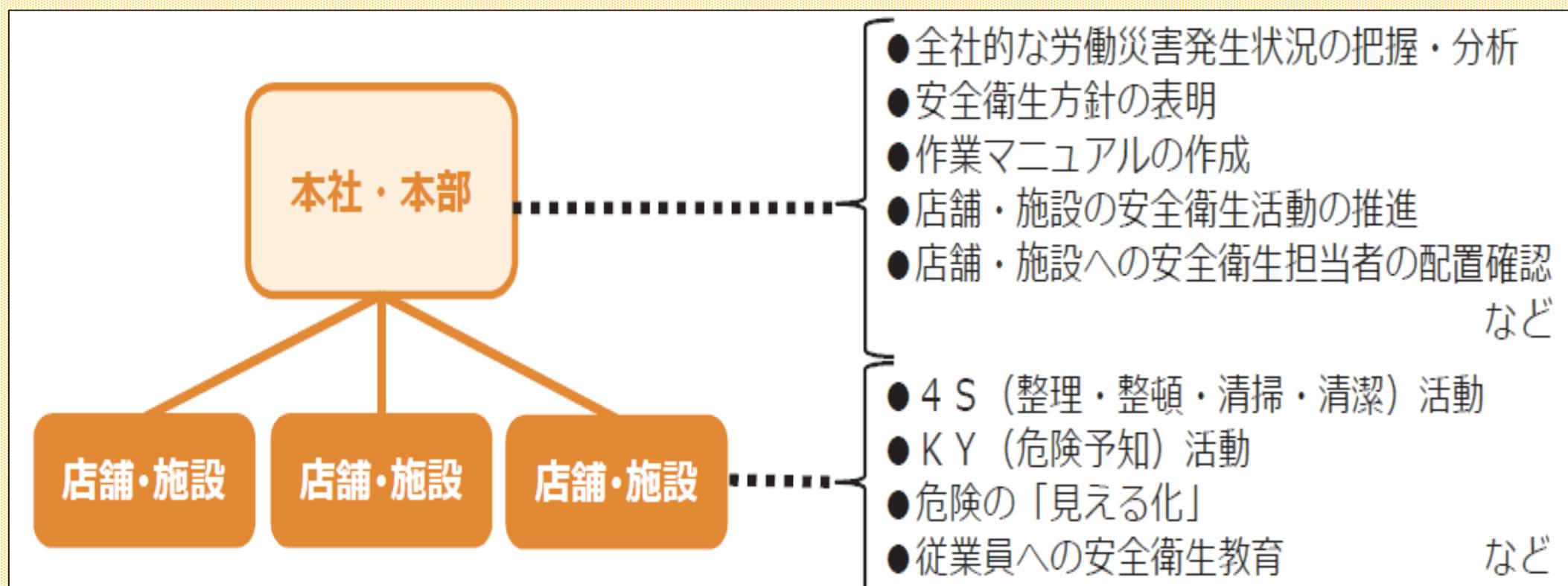
年代が上がるほど労働災害が増加する

事故の型別労働災害発生件数(令和3年)



動作の反動等（腰痛や捻挫など）、転倒が圧倒的に多い

労働災害を防止するための取り組みとは？



施設での取り組み

② 4 S活動 = 災害の原因を取り除く

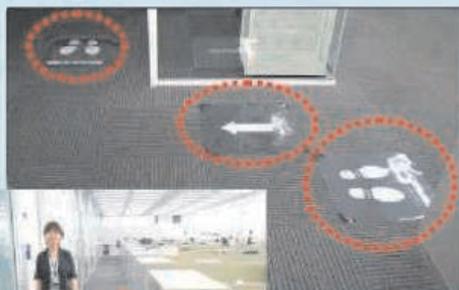
- ◆ 「4 S」とは「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」のことで、これらを日常的な活動として行うのが「4 S活動」です。
- ◆ 4 S活動は、労働災害の防止だけではなく、作業のしやすさ、作業の効率化も期待できます。
- ◆ お客様の目に触れにくいバックヤードも整頓を忘れないようにしましょう。
- ◆ 荷物やゴミなど、物が散らかっている職場や、水や油で床が滑りやすい職場は、災害の危険が高くなります。



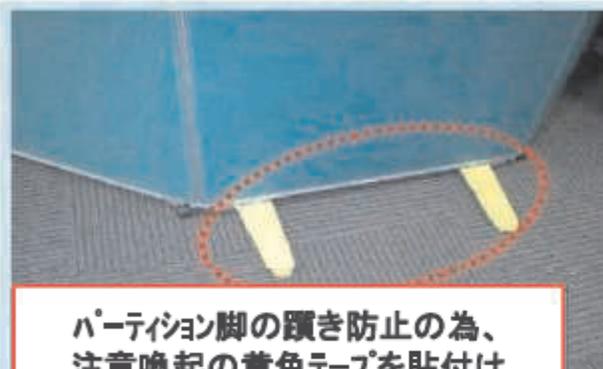
「見える」安全活動の事例

「見える化」は、危険認識や作業上の注意喚起を分かりやすく知らせることができ、また、一般の労働者も参加しやすいなど、安全確保のための有効なツールです。

衝突防止の為、「左右確認」表示を設置



右側通行の徹底のための表示



パーティション脚の躓き防止の為、
注意喚起の黄色テープを貼付け



台車置場の明確化
(区画線のテープ貼りけ)



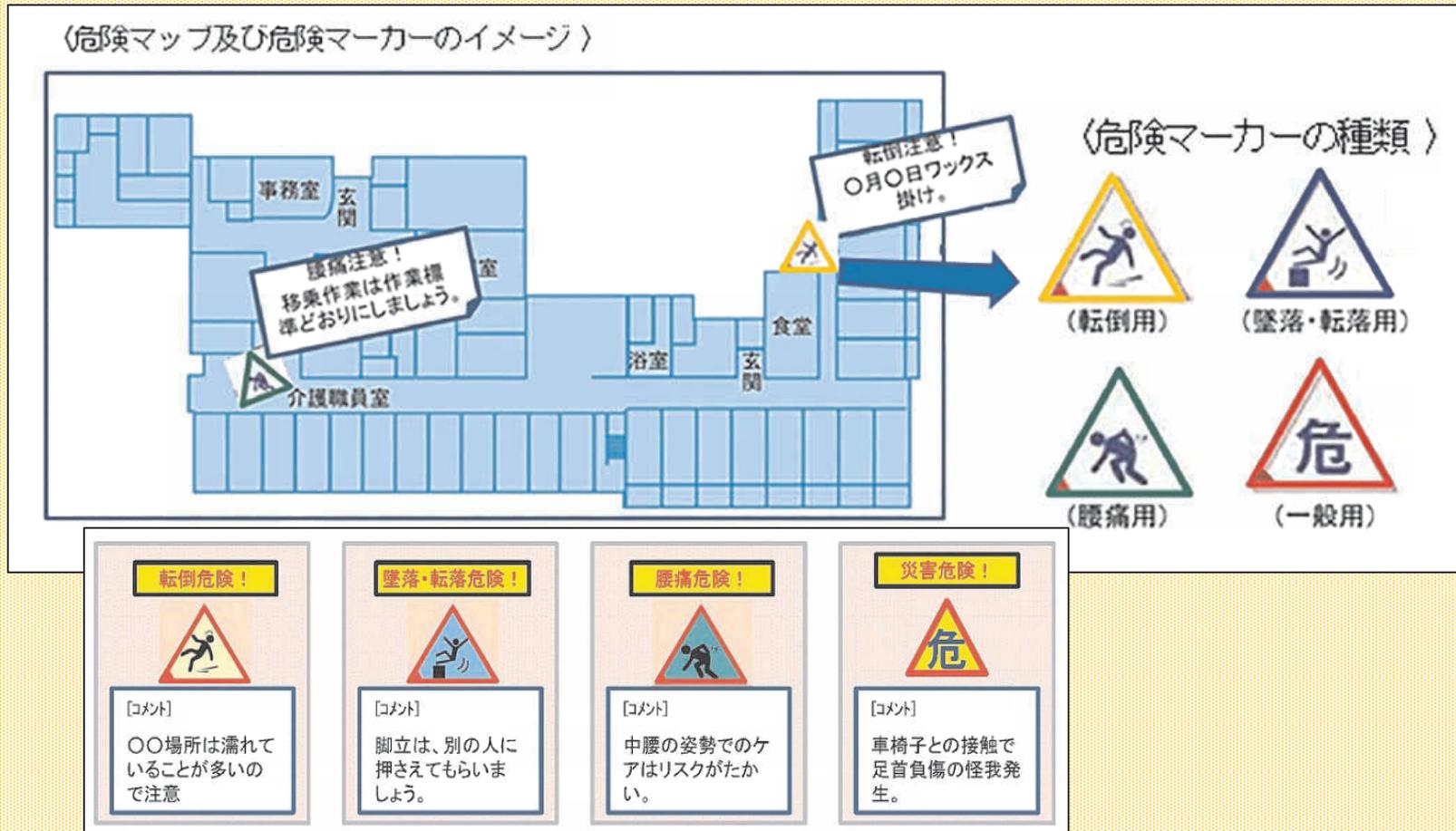
通路に出る時の衝突防止の確認ミラーを設置



作業中、作業エリアを示すカラーコーン

「危険ステッカー」で危険の見える化を！

危険箇所等に貼り付ける、危険箇所と危険内容を警告する「危険ステッカー」は下の図のようなものです。使用方法は、次のとおりです。



転倒災害を防止しましょう



ながら歩き禁止



すべり注意



つまずき注意



踏み外し注意



手すりの設置



滑りにくい靴の
着用



危険箇所の
見る化

あなたの職場は大丈夫？ 転倒の危険をチェックしてみましょう

- 身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか
【**通路や階段に物を置かない**】
⇒ 整理整頓をし、安全通路を確保しましょう。
- 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか
【**床面の滑り防止対策**】
⇒ こまめに床面の水や油等をふき取るほか、可能であれば床面を滑りにくい材質に変更しましょう。
- 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか
【**危険の「見える化」**】
⇒ 目立つ場所に注意ステッカーを貼るなどして、危険個所を全員で共有しましょう。ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し周知するのも良い方法です。
- 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか
【**照度の確保**】
⇒ 通路・廊下の照明は明るくしましょう。具体的には、通路や廊下は 100 ルクス以上、階段は 150 ルクス以上を確保しましょう。
- 職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェックしていますか
【**床面の凹凸をなくす**】
⇒ 転倒の可能性が高い場所から順番に、床面の補修や階段の滑り止めテープ貼付などの対策をしましょう。
- 荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか
- ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか
【**不安全行動の防止対策**】
⇒ 「荷物等の運搬時は足元が見える方法で行う」「大きな荷物は階段を使わず台車を使用」「携帯電話を使いながら歩行禁止」などのルールを決め、全員で共有しましょう。
- 作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか
【**履物対策**】
⇒ 滑りにくい靴底の履物を使用しましょう。
- ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか
【**転びにくいからだづくり**】
⇒ 身体機能の維持・向上を図りましょう。

静岡労働局では「ぬかづけ」運動を実施しています

このリーフレットは、
静岡労働局HPからダウンロード
できます。

「静岡労働局 ぬかづけ運動」

で検索！

職場の安全対策を！

静岡労働局
STOP! 転倒災害
プロジェクト

「静岡労働局ぬかづけ運動」実施中！

転倒災害を防止しよう！



ぬれた場所



かいだん



かたづけ

床の水たまりや水、油、粉類などを放置していませんか？

階段や段差のある場所に、注意を促す標識や手すりなどを付けていますか？

身の回りの整理整頓を行っていますか？通路などに物を放置していませんか？

静岡県内における労働災害（令和3年 4,440件）

転倒	1,065件
墜落・転落	714件
はさまれ・巻き込まれ	593件
動作の反動・無理な動作	630件
その他	1,438件

転倒全体の**24%**

静岡労働局管内では、平成21(2009)年から連続し、転倒災害が「事故の型」ワーストワンのままです。令和3(2021)年には休業4日以上の労働災害（新型コロナウイルス感染症によるものを除く）が4,440件（昨年4,321件）となる中、そのうち1,065件（昨年1,030件）を占めており、4年連続で1,000件を超えています。静岡労働局では、転倒災害を少しでも減らすきっかけとなれば、との願いを込めて「静岡労働局ぬかづけ運動」を平成31年4月から継続して展開しています。

各企業様におかれましても「人間は転ぶ」ことを前提に設備や装置を見直してください。

【4.01】

あなたの職場は大丈夫？ 転倒の危険をチェックしてみましょう

- 身の回りの整理・整頓を行っていますか？ 通路、階段、出口に物を放置していませんか？
【通路や階段に物を置かない】
⇒ 整理整頓をし、安全通路を確保しましょう。
- 床の水たまりや水、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか？
【床面の滑り防止対策】
⇒ こまめに床面の水や油等をふき取るほか、可能であれば床面を滑りにくい材質に変更しましょう。
- 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか？
【危険の「見える化」】
⇒ 目立つ場所に注意ステッカーを貼るなどして、危険箇所を全員で共有しましょう。ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し周知するのも良い方法です。
- 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか？
【照度の確保】
⇒ 通路・廊下の照明は明るくしましょう。具体的には、通路や廊下は100ルクス以上、階段は150ルクス以上を確保しましょう。
- 職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェックしていますか？
【床面の凹凸をなくす】
⇒ 転倒の可能性が高い場所から順番に、床面の補修や階段の滑り止めテープ貼付などの対策をしましょう。
- 荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか？
- ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか？
【不安全行動の防止対策】
⇒ 「荷物等の運搬時は足元が見える方法で行う」「大きな荷物は階段を使わず台車を使用」「携帯電話を使いながら歩行禁止」などのルールを決め、全員で共有しましょう。
- 作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか？
【履物対策】
⇒ 滑りにくい靴底の履物を使用しましょう。
- ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか？
【転びにくいから大丈夫】
⇒ 身体機能の維持・向上を図りましょう。

10月10日は『転倒予防』の日

参考

- 厚生労働省「職場の安全サイト:STOP! 転倒災害プロジェクト」
<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html>
- 中央労働災害防止協会「STOP! 転倒災害プロジェクト」
<https://www.jisha.or.jp/campaign/tentou/index.html>
- 日本転倒予防学会 <http://www.tentouyobou.jp/>

※ 転倒リスクの高い箇所をわかりやすく「ぬかづけ」と標識したのは、「日本転倒予防学会」です。

静岡労働局 労働基準部 健康安全課
静岡市葵区追手町9-50 静岡地方合同庁舎3階 TEL 054-254-6314

【4.04】

まとめ

- 社会福祉施設では、労働災害が**急増**しています。
本部においては運営施設の労働災害の状況把握をお願いします。
- **施設においては、特に腰痛や転倒**など作業行動に起因する労働災害防止の取り組みを**実践**しましょう。
- 利用者に**安全・安心・快適な環境**を提供するためには、**施設で働く方の安全や健康を保つ**ことが大切です。